

取扱説明書

# 同軸式・防犯カメラ専用レコーダーシリーズ 5.0MP - AHD/CVI/TVI/CVBS/IP (4CH/8CH/16CH)共通



# もくじ

正しくご使用いただくために - 注意書	P3
01 各部名称・付属品・接続	
1-1. 各部名称	P4
1-2. 機材の接続全体図	P4
1-3. モニターとの接続	P4
1-4A. 電源接続 - 12V2A アダプターの場合	P4
1-4B. 電源接続 - 集中電源ボックスの場合	P4
02 スタートアップウィザード - 初回起動時設定	
2-1. 解像度変更	P5
2-2. 言語 / アカウント設定	P5
2-3. ネットワーク設定	P5
2-4. 日付 / 時間設定	P5
2-5. ディスク設定 (内蔵ドライブ)	P5
2-6. その他 ~ 完了	P6
03 基本操作と録画設定	
3-1. ライブ画面と操作パネル	P7
3-2. メインメニュー	P7
3-3. 録画設定 - エンコード	P7
3-4. 録画設定 - モーションアラーム	P8
3-5. 録画設定 - スケジュール	P8
3-6. 録画再生 - プレイバック	P8
3-7. 録画映像バックアップ	P8
04 ネットワークと遠隔視聴	
4-1. ネットワーク接続 (LAN/WAN)	P9
4-2. スマートフォン / パソコン ペ어링設定	P9
05 システム	
5-1. ファームウェアアップデート	P10
5-2. リセット (工場出荷時に戻す)	P10
5-3. アカウント / パスワード 編集	P10
5-4. シャットダウン	P10
06 その他	
6-1. OSD - PTZ/UTC	P11
6-2. プライバシーマスク	P11
6-3. IP カメラ設定	P11
07 トラブルシューティング	P12

このたびは、同軸式・防犯カメラ専用レコーダーをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。  
また大切に保管し、必要なときにお読みください。

※同一品番でも製造ロットにより、本体色味が若干異なる場合がございます。

※商品の仕様および外観などは商品改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※万一、当社の製造上の原因による品質不良が発生した場合は新しい製品とお取り替え致します。

それ以外の責任は負いかねます。

※記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

〈おことわり〉

本機は監視映像を録画するための機器であり、事件・事故防止機器ではありません。事件・事故等の損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

万一故障等が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

本機は当社保証規定に基づいて保証させて頂いております。





※保証内容が記載される裏表紙は、大切に保管してください。

この「取扱説明書」では、本機をご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、お取り扱いの際に守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。

この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、本取扱説明書をお読みいただくようお願い申し上げます。

# ■正しくご使用いただくために - 注意書

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。	 <b>禁止</b>	してはいけない「禁止」内容のことです。
 <b>注意</b>	この注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。	 <b>実行</b>	実行しなければならない「指示」内容のことです。

## - 重要 -











- レコーダーの動作中に電源を切ったり、電源アダプターのプラグを抜いたりしないでください。回復不能な損傷が発生する場合があります。
- レコーダーの電源を切る場合、正しい手順に従って、終了してください。
- 本機は、ハードディスクレコーダーです。衝撃や振動を与えてはいけません。故障や破損の原因となります。

## 設置の際にお守り頂く内容

### 警告









-  屋外には設置しないでください。火災・故障の原因となります。
-  直射日光や雨の当たる場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

### 注意






-  指定の温度・湿度範囲外の場所に設置しないでください。故障の原因となります。
-  強力な電氣的ノイズおよび電磁波のある場所に設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。
-  本機に衝撃や振動が加わる所には設置しないでください。故障や破損の原因となります。
-  本機に腐食性ガスや粉塵がかかる場所に設置しないでください。故障や寿命を短くする原因となります。
-  磁石など、磁気を帯びた物の近くに設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。
-  本機は熱を発生するため、風通しの良い場所に設置してください。風通しの悪い場所に設置すると、故障の原因となります。
-  本機の上にカメラ用電源装置など他の機器を設置してはいけません。
-  直射日光や雨の当たる場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。
-  強度の弱い所に設置する場合は、十分な補強工事を施してから設置してください。強度不足の場所にそのまま設置すると、本機が落下するなどして、故障・けが・破損の原因となります。
-  本機に接続するカメラ・集音マイクなどとの配線に屋外配線が含まれる場合、地中配管による配線や市販の雷サージアブソーバーを接続するなどの対策をして、機器の保護を行ってください。



## ご使用時や工事 / 保守点検の際にお守り頂く内容

### 警告

-  本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本機に水などの液体をかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  通風孔などから金属、紙、その他異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
-  通風孔は、ふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。
-  電源を入れたまま工事配線をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  雷の時は、工事配線をしないでください。落雷場所によっては、火災・感電・故障の原因となります。
-  異音や異臭、その他故障や異常であると思われるときは、本機を使用しないでください。このような時は、電源を切り、お買い上げの販売店にお申し出ください。放置すると故障の拡大や思わぬ事故の原因となります。
-  AC100V 以外の電源電圧で使用してはいけません。また、同梱の AC/DC アダプター以外は使用しないでください。

### 注意

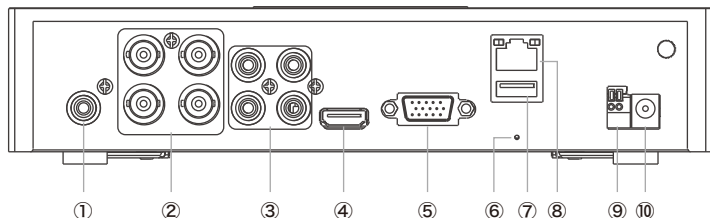
-  本機はハードディスクを搭載しています。本機に衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因となります。
-  待機状態・電源を切ったあとも 20 秒以上は、本機を動かさないでください。
-  ハードディスクやファンは、消耗品です。お買い上げの販売店に相談し、定期的な交換をお願いします。また、定期点検の実施をお勧めします。
-  工事・点検の前には、金属扉などに触れて、体の静電気を除去してください。
-  何らかの異常にお気づきの場合、速やかにお買い上げの販売店にご相談ください。

-  プライバシー保護についてすべての人には、自己の容貌などをみだりに撮影されたり、公表されたりすることのない自由があり、プライバシーに関する権利の一つとして憲法 13 条（個人の尊重）により保障されています。集音される音声についても同様です。カメラ・マイクの設置の際は、個人のプライバシーを侵害することがないように十分にご注意ください。また、「隠し撮り」とならないよう、防犯カメラが設置されていることを表示するなどのご配慮をお願いします。
-  本機に関する設定情報・画像・音声などの利用情報は、お客様の責任管理下にあります。お客様ならびお客様が許可する利用者以外の第三者が情報に触れることがないようにご注意ください。

# 01 各部名称・付属品・接続

## 1-1. 各部名称・付属品

[4CH タイプ]

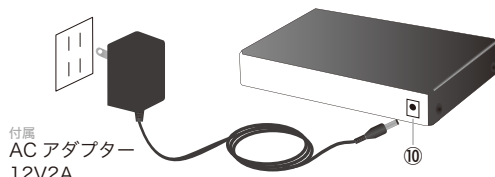


- ①RCA 出力端子 (AUDIO-OUT)
- ②BNC 入力端子 (BNC-IN)※
- ③RCA 入力端子 (AUDIO-IN)
- ④HDMI 出力端子 (HDMI-OUT)
- ⑤VGA 出力端子 (VGA-OUT)
- ⑥リセットボタン
- ⑦USB 端子 (TYPE-A)
- ⑧LAN 端子 (Ethernet-RJ45)
- ⑨アラームポート
- ⑩電源端子 (外径φ5.5)

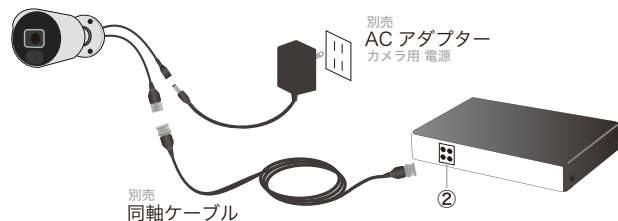
付属品…取扱説明書 / AC アダプター / USB マウス  
 ※HDD 未搭載の場合は、取付用ビスを含む  
 ※② BNC 入力端子 4CH / 8CH / 16CH / 16CH ポート数があります  
 (イラストは4CHタイプ)

## 1-4A. 電源接続 - 12V2A アダプターの場合

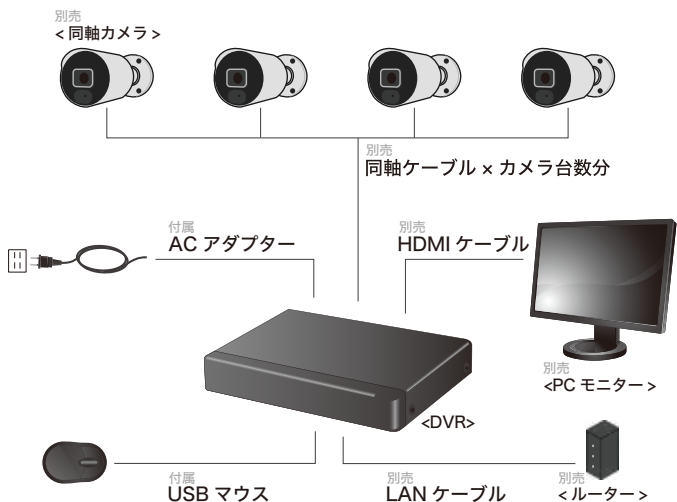
①電源アダプターとの接続



②カメラとの接続



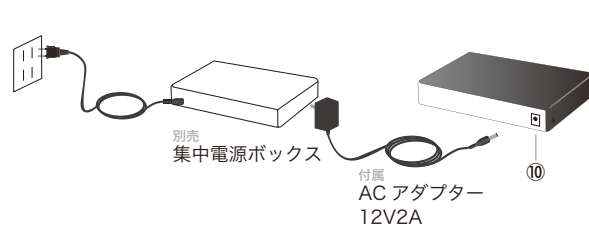
## 1-2. 機材の接続全体図



※各機器を取付・配線する前に、必ず動作確認をおこなってください。  
 ※インターネット接続を行なう場合に限り、LAN ケーブル (別売) をはじめとしたネットワーク環境をご用意下さい。

## 1-4B. 電源接続 - 集中電源ボックスの場合

①電源アダプターとの接続

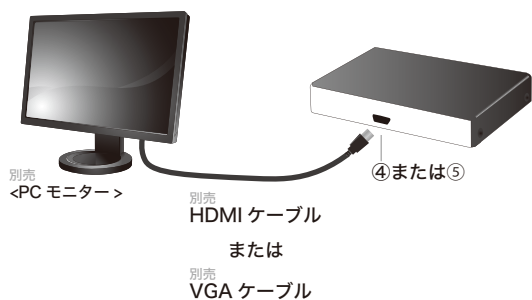


②カメラとの接続



※詳しくは、集中電源ボックスの取扱説明書を参考に接続を進めて下さい。

## 1-3. モニターとの接続



※本機は、PC モニター出力を前提とし設計されています。液晶テレビの一部には接続が認められないものがあります。映像が出力されない場合、PC モニターをご使用下さい。  
 ※VGA ケーブルでの接続の場合、解像度が一致しないと映像が出力されません。また、音声も出力されません。

作業お疲れ様でした！  
 次のページから以下の操作説明が始まります

## 02 スタートアップウィザード - 初回起動時設定

continue...

- 左クリック  
・操作の決定
- マウスホイール  
・スクロール



# 02 スタートアップウィザード - 初回起動時設定

## 2-1. 解像度変更 (解像度が一致しない場合)

### ① 解像度変更を誘起する表示

注意

モニターは 1080P 解像度をサポートしています。解像度を変更しますか？

OK  キャンセル

電源が入ると、解像度の変更について表示される場合があります。表示されない場合は、次のステップに進みます。

「OK」をクリックすると解像度が調整されます。キャンセルを押すとそのまま進みます。サポートしている解像度に合わせることで精細に表示できます。

### ② 「OK」のパターン

解像度を変更されました。変更を保存しますか？

変更まで 8 秒！

OK  キャンセル

解像度調整後、結果を保存するか尋ねられるため、「OK」をクリックします。キャンセルまたは時間を経過すると、元の解像度に戻ります。

## 2-2. 言語 / アカウント設定

### ① 言語設定とアカウント設定

言語

デバイス ID

新しい管理者名

パスワードの強度

新しい管理者パスワード

パスワードの確認

パターンロックの解除

admin のままで問題がない場合は「新しい管理者パスワード」から入力を行ないます。パスワードは英数字を含む 8 文字以上だとパスワード強度が中判定以上になります。パスワード強度小の場合は、注意が表示されるため、中判定以上になるよう入力しましょう。「パスワードの確認」で同じ値を入力します。「パターンロックの解除」は任意設定ですが、必要に応じ調整してください。「適用」から進みます。

ロック解除パターンを入力して下さい。

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

「パターンロックの解除」右側の鉛筆アイコンをクリックすると、パターンロックを設定できます。パターンロックは、スタイラスペンの動きを記憶させておき、同じパターンをなぞるとロックが解除される方式です。ドラッグアンドドロップを使用し円と円を結びことで、簡単かつ強度の高いパスワードを生成できます。

※テキストパスワード並びにパターンロックはお忘れにならないようご注意ください。

### ② パスワード復元時の質問等

セキュリティ質問設定

セキュリティ質問 1   
答え

セキュリティ質問 2   
答え

セキュリティ質問 3   
答え

証明書  スーパーコード

OK  キャンセル

「パスワードダイアログ復元」はパスワードを忘れてしまったときのために、その復元することのできる機能です。「キャンセル」することはできませんが、設定することを推奨します。セキュリティ質問は QA からパスワードを復元します。

証明書とスーパーコードは推奨されていません。

※各回答内容を失念しないようご注意ください。  
※USB メモリーは別売です。

### ② セットアップウィザードの開始

「スタートウィザード」からセットアップを開始します。

#### MEMO

パスワードのヒント	
セキュリティ質問 1 - 回答ヒント	
セキュリティ質問 2 - 回答ヒント	
セキュリティ質問 3 - 回答ヒント	
証明書 保存先ディレクトリ	

## 2-3. ネットワーク設定

A

ローカル接続

DHCP

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

IPv6 アドレス

IPv6 ゲートウェイ

DNS

DNS1

DNS2

ポート

サービス	プロトコル	内部ポート	外部ポート
ウェブクライアント	TCP	00080	00080
	TCP	09000	09000

UPNP 状態

マッピングストラテジー

PPPOE

PPPOE ユーザー名

パスワード

次  キャンセル

ネットワーク設定は、本機をネットワークに接続しスマートフォンやパソコンからアクセスできるようにします。設定の必要がなければ「次」に進めます。設定の必要がある場合、先にルーターを接続しておきます。項目 A と B で設定の特性が異なります。

**[A] - P2P 接続**  
最も簡単な接続方式 P2P を使用する場合はここだけ設定します。DHCP により自動で IP アドレスを取得する場合は、項目にチェックを入れます。DHCP へはチェックを入れておくことを推奨します。各値を指定する場合はチェックを入れず、その値を IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ項目へ入力します。

**[B] - P2P 接続以外**  
P2P を使用しない場合は、A に加えこれらの値も調整します。ネットワークの専門知識を要する高度な設定を行ないます。

※弊社商品以外の接続機器や接続先となるネットワーク環境のお問い合わせはサポート致しかねます。予めご了承下さい。

## 2-4. 日付 / 時間設定

### A. 日付と時間 (手動で設定)

日付と時間 NTP

日付

時間

日付表示形式

時間表示形式

タイムゾーン

前  次

本機の日付と時間を調整します。設定完了したら「次」に進みます。

**[A]**  
手動で設定する場合は、「日付と時間」タブから各値を手動で入力します。正しい日付と日時を入力し、表示形式はお好みで設定してください。なお日本のタイムゾーンは「GMT+9:00」です。

### B. NTP (ネットワークから自動取得)

日付と時間 NTP

日付

時間

日付表示形式

時間表示形式

タイムゾーン

前  次

**[B]**  
本機をネットワークに接続している場合は、NTP から時刻を取得できます。

※サマータイム設定は、日本国内で使用しません。

## 2-5. ディスク設定 (内蔵ドライブ)

### ① フォーマット前

ディスク

No.	シリアル番号	モデル	ファーム	状態
<input checked="" type="checkbox"/>	1	WDxxxxxx	WD10xx	A.01 未フォーマット

上書き設定

HDD フォーマット

前  次  キャンセル

初回起動時は内蔵ドライブが未フォーマットです。状態項目は「未フォーマット」表示になっています。「No.」下にチェックを入れ、「HDD フォーマット」から内蔵ドライブのフォーマットを行ないます。プログレスバーが表示され、フォーマットの進行状況を確認できます。通常 1 分以内に 100% に到達します。

※この作業を実施しない場合、映像が保存されません。  
※内蔵ドライブが表示されない場合、内蔵ドライブが認識されていません。

### ② フォーマット完了

注意

フォーマット完了

OK

前  次  キャンセル

フォーマットが完了すると、プログレスバーが 100% となり、「フォーマット完了」と表示されます。「OK」を押し、「次」で進めてください。

※フォーマットに失敗した場合、内蔵ドライブにトラブルが発生している可能性があります。作業①を複数回繰り返し解決しない場合は、ヘルプページからお問い合わせください。

## 02 スタートアップウィザード - 初回起動時設定 (つづき)

### 2-6. その他 ~ 完了

#### ① 解像度

出力解像度 1080P(1920x1080)

適用

前 次 キャンセル

解像度は、P5.2-1 で設定済みの場合「次」で進みます。

#### ② モバイル (スマートフォン連携)

モバイル

前 次 キャンセル

スマートフォン連携用の QR コードが表示されます。後からでも設定可能なため、「次」で進みます。

#### ③ 設定値確認

解像度 1080P(1920x1080)

日付 / 時間 03/06/2024 11:13:55, GMT+9:00

NTP オン

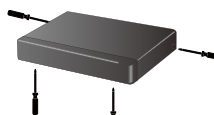
前 完了

2-1 から 2-7 まで入力・設定した情報が確認として表示されます。問題がなければ「完了」をクリックし、ウィザードを終了しましょう。

設定お疲れ様でした。

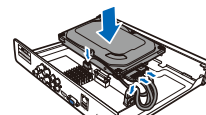
### 💡 ハードドライブの取付け・取外しについて

#### ① 外装のビスを取り外す



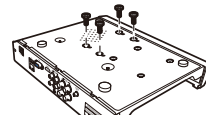
外装の 4 点のビスを取外します。4 CH の場合、側面 2 点、底面 2 点の合計 4 点です。要プラスチックドライバー (別売)

#### ② HDD と接続する



基板が露出したら、付属の SATA ケーブルと電源ケーブルを使用し、HDD に接続します。

#### ③ 固定する



ビス 4 点を使い、底面から HDD を完全に固定します。①で取外したカバーを戻して完了です。

ハードドライブは、本機に取付ける、また本機から取外しすることを簡単に行えます。

動作保証可能な HDD ストレージは、以下の通りです。

□シリーズ：WD Purple Surveillance Hard Drive / Seagate SkyHawk

□容量：最大 10TB

□サイズ：3.5 inch

※弊社には、上記以外のストレージに対応している製品もございます。

※この作業は分解作業にあたります。この作業により「機械本体の故障・破損」が発生した場合、保証対象外となります。この点を十分に理解いただき、慎重に作業を行なって下さい。

設定お疲れ様でした！  
次のページから以下の操作説明が始まります

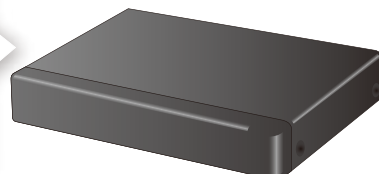
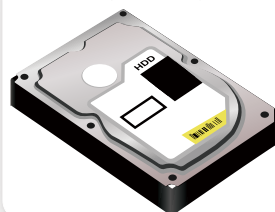
## 03 基本操作と録画設定 ~

※カメラ映像が画面に正常に出力されている場合、この時点で連続録画が開始されています。スタートアップウィザードは終了です。

continue...

### 💡 内蔵ハードドライブの正しい取り扱い方法

#### 内蔵ハード (ディスク) ドライブ



本機には、録画媒体としてハードディスクドライブ (以下：ハードドライブ) を搭載できます。ハードドライブは、一般的に防犯カメラ専用レコーダーに内蔵され、カメラに撮影された映像情報を記録・保持します。

記録された映像情報を正しく継続保持するには、ハードドライブを正しく取り扱う必要があります。そこでハードドライブメーカーが提唱するハードドライブの一般的な取扱方法を紹介致します。

ハードドライブは、過大な物理的な力や静電気放電 (ESD) によって損傷することがあります。

警告：静電気による損傷は目には見えませんが、断続的な性能や故障により、かなり後に発見されることがあります。この記事で概説する適切な手順を使用することで、ESD によるハードドライブの損傷の可能性を減らすことができます。

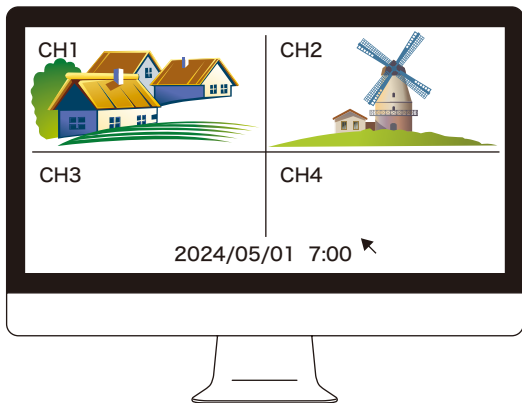
#### < 注意 >

- ・ハードドライブを ESD バッグから取り外す前に、ツールとケーブルを用意して取り付けてください。
- ・コンピュータシステムに物理的に取り付ける準備が整うまで、ハードドライブを ESD バッグの内部に収めます。
- ・特にメモリ、コントローラカード、または他の電子ボードのような敏感なデバイスに近い場合は、アースストラップを使用してください。
- ・コンピュータの電源を切った状態で (電源に接続したまま)、コンピュータのケースのベアメタルに触れ、コンピュータの電源コードを抜きます。
- ・他人にドライブを触らせないでください。
- ・ハードドライブを側面で持ち、PCB コネクタまたはプリント基板アセンブリに触れないように注意してください。
- ・ドライブを設置するとき、静電気を発生させるような行為 (カーペット上を歩き移動など) をしないでください。
- ・ハードドライブを落としたり、ぶついたり、振ったりしないでください。これらの操作はドライブの内部コンポーネントに損傷を与える可能性があります。
- ・ハードドライブに極端な温度がかからないようにする。
- ・ハードドライブを積み重ねないでください。
- ・ハードドライブを横に立てないでください。
- ・ハードドライブの上に物を置かないでください。
- ・ハードドライブをコンピュータベイに押し込まないでください。
- ・コネクタピンの損傷を防ぐため、データコネクタと電源コネクタを取り付けるときは注意してください。
- ・ドライブのエアーフィルタの穴をふさがらないでください。

# 03 基本操作と録画設定

## 3-1. ライブ画面と操作パネル

【ライブ画面】



スタートアップウィザードが完了すると、分割された画面が表示されます。この分割画面はライブ映像です。カメラの台数に応じて、分割画面や単画面への表示変更を推奨します。分割表示へは操作パネルから、単画面表示へは対象のCHをダブルクリックで切り替えます。

【操作パネル】



操作パネルはライブ画面の最下部にマウスカーソルを当てると、表示される簡易メニューです。以下の通り、各アイコンを操作することで表示設定等変更できます。

①	メインメニューを開きます。メインメニューは次項で詳しく説明します。	⑧	ストレッチとオリジナルをスイッチングします。ハーフ画質の場合、オリジナルは1:1表示となります。ストレッチにすると16:9表示になります。
②	分割表示します。例えば4台のカメラでは、4分割でライブ映像を視聴できます。	⑨	バランスビューとスムーズビューをスイッチングします。
③	②以外の表示方法が確認できます。機種によって6分割表示等お試しください。	⑩	チャンネルのライブ映像が映る位置情報をセットします。
④	シーケンス表示します。シーケンスとは、一定時間単画面表示されるライブ映像を繰り返します。例：CH1→CH2→CH3→CH4→CH1…以下繰り返し	⑪	ネットワークの接続状態を示します。オフライン中は「×」、オンライン中は「√」となります。オンライン中の場合、正常にネットワークに接続されています。
⑤	録画再生画面へ移動します。録画再生画面は、保存された映像を視聴できる機能でプレイバックとも呼ばれます。	⑫	アラーム動作のオンオフをスイッチングします。アラーム動作がオンの場合「√」となります。オフの場合「×」となりアラーム動作が解除されます。
⑥	音声を出力します。この音声はカメラが取得した音です。 ※音声マイク内蔵カメラ / 音声対応モニターに限る	⑬	スナップレコードで撮影できます。スナップレコードは、手動ですぐに撮影したいときに有効な機能です。
⑦	メインストリームとサブストリームをスイッチングします。通常、メインストリームは高画質表示、サブストリームは低画質表示です。	⑭	システム情報とシステムログを表示します。その他、スマホ連携用のQRコードやネットワーク設定等を確認できます。

## 3-2. メインメニュー

- admin**  
管理者設定です。パスワード変更等。
- 検索**  
録画映像を検索再生します。
- 設定**
- ロック解除**  
パスワードを都度要求されないようにします。
- シャットダウン**  
電源を落とします。
- ①**  
操作パネル①をクリックすると5つのメニューが表示され「設定」内には更に6つのメニューが存在します。

- ①-a. チャンネル**  
接続中カメラについて主に設定変更できます。映像の色味設定やPTZ設定を調整できます。
- ①-b. 録画**  
接続中カメラの録画に関する設定を変更できます。録画映像品質の調整やキャプチャ設定を調整できます。
- ①-c. アラーム**  
イベント発生時のアラームに関する設定を変更できます。動体検知、PTZ運動、アラームスケジュールを調整できます。
- ①-d. ネット**  
ネットワーク (LAN/WAN) に関する設定を変更できます。DHCP、DDNS、メール配信に関する設定はこちらです。
- ①-e. ストレージ**  
内蔵HDDに関する設定を変更できます。HDDフォーマット/FTPの操作や動作状況を確認できます。
- ①-f. システム**  
レコーダー本体の基本設定を変更できます。ユーザー設定の調整や本機の初期化を実施できます。

## マウスの操作

**単画面表示時**

マウスホイールで拡大

操作パネル (画面最下部)

- 左クリック
  - ・操作の決定
  - ダブルクリック
    - ・単画面表示
    - ・分割表示
- 右クリック
  - ・操作パネル表示
  - ・操作の取消
  - ・前の操作に戻る
- マウスホイール  
カメラ映像を単画面表示の際、拡大縮小

## 3-3. 録画設定 - エンコード

3-2-①-b より

エンコード設定	メイン	サブ	モバイル	音声					
録画	チャンネル	ストリームタイプ	解像度	FPS	ビデオエンコードタイプ	ビットレート制御	ビットレートモード	ビットレート	音声
キャプチャ	CH1	ノーマル	1920 x 1080	30	H.265	CBR	選択式	2048	<input type="checkbox"/>
	CH2	ノーマル	2560 x 1440	6	H.265	CBR	選択式	2048	<input type="checkbox"/>
	CH3	ノーマル	2560 x 1440	6	H.265	CBR	選択式	2048	<input type="checkbox"/>
	CH4	ノーマル	2560 x 1440	6	H.265	CBR	選択式	2048	<input type="checkbox"/>

コピー 初期化 適用

モーションアラームは、動体検知が発生した場合の動作設定を調整する画面です。モーションまたは動体検知は、映像の変化による検出機能です。  
 解像度…静止画としての解像度です。  
 FPS…フレームレートです。映像の滑らかさに影響します。  
 ビデオエンコードタイプ…映像圧縮方式です。H.265 推奨。  
 ビットレート制御…CBR/VBR を選択します。CBR 推奨。  
 ビットレートモード…選択式 / 入力式を選択します。  
 ビットレート…映像品質に直結する項目です。  
 音声…集音の可否を選択します。

HDD1TB / カメラ1台 24時間連続録画 + 録音の場合

解像度	フレームレート - FPS	ビットレート (kbps)	録画時間
1280x720	15	512	154日
1920x1080		1024	82日
2560x1440		2048	42日

※カメラを複数台録画する場合は、日数÷カメラ台数で録画可能時間を算出することができます。  
 ※上書き録画を設定している場合、上書きが開始されるまでの時間の目安になります。  
 ※撮影環境によって録画可能時間は変動することがあります。  
 ※録画可能時間はハードディスク容量に比例します。  
 ※解像度は現在主流である16:9の液晶モニターに応じた1920x1080を推奨します。

※接続されたカメラの設定値によってレコーダーの録画設定値が変動します。カメラ側の設定値を優先するため、レコーダーの初期値が更新されます。カメラを接続した後でもう一度レコーダーの設定値をご確認ください。

# 03 基本操作と録画設定 (つづき)

## 3-4. 録画設定 - モーションアラーム (動体検知)

3-2-①-c より

モーションアラーム	モーションアラーム											
	チャンネル	ブザー	録画	録画継続時間	メッセージ表示	メール送信	FTP 画像送信	FTP 動画送信	クラウド画像送信	クラウド動画送信	全画面表示	音声警告
◇人感センサー	CH1	10秒	オン	30秒	☑	☑	☑	☐	☑	☐	☐	☑
◇インテリジェント	CH2	オフ	オン	30秒	☑	☑	☑	☐	☑	☐	☐	☑
◇コンビネーションアラーム	CH3	オフ	オン	30秒	☑	☑	☑	☐	☑	☐	☐	☑
◇PTZ 連動	CH4	オフ	オン	30秒	☑	☑	☑	☐	☑	☐	☐	☑
◇異常												
◇アラームスケジュール												
◇音声警告												
◇威嚇												
◇サイレン												
◇警戒解除中												

モーションアラームは、動体検知が発生した場合の動作設定を調整する画面です。モーションまたは動体検知は、映像の変化による検出機能です。  
 ブザー…動体検知時にレコーダーからブザーが鳴ります。  
 録画…動体検知時に録画を実行します。  
 録画継続時間…録画秒数の設定です。  
 メッセージ表示…動体検知時にメッセージを表示します。  
 -----※以下 要ネットワーク設定・要各設定-----  
 メール送信…動体検知時にメールを送信します。  
 FTP 画像送信…動体検知時に FTP を使用し静止画をアップロードします。

FTP 動画送信…動体検知時に FTP を使用し動画をアップロードします。  
 クラウド画像送信…動体検知時にクラウドへ静止画をアップロードします。  
 クラウド動画送信…動体検知時にクラウドへ動画をアップロードします。  
 -----  
 全画面表示…動体検知時に対象 CH を単画面表示します。  
 音声警告…ファイルを選択し、音声で警告します。

## 3-5. 録画設定 - スケジュール

3-2-①-b より

録画 スケジュール

チャンネル: CH1

● 連続 ○ モーション ○ 人感センサー

日 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

月

火

水

木

金

土

コピー 初期化 適用

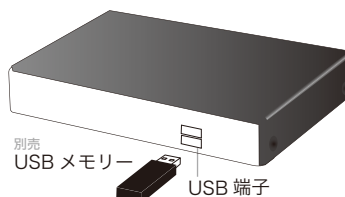
録画>録画スケジュールより録画スケジュールを組むことができます。表の縦軸は日曜～土曜、横軸は24時間を示します。録画項目「連続」「モーション」「人感センサー」のいずれかを選択し、表内へマウスカーソルを合わせます。ドラッグ＆ドロップを使用すると、該当箇所が塗りつぶされます。塗りつぶされた箇所は、録画項目のいずれかが動作する曜日・時間となります。完了後「適用」をクリックします。

【△3-4. 録画設定との関係性】

3-4 録画設定 (モーションアラーム) 後、実際にアラーム録画を行なう場合には、スケジュールを組む必要があります。スケジュールを組まない場合、アラーム録画は実行されません。

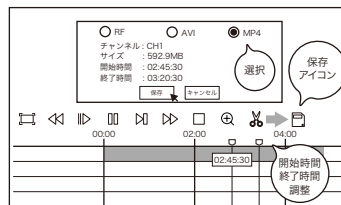
## 3-7. 録画映像バックアップ

① USB メモリーの差し込み



※USB メモリーの最大対応容量は、1TB(1024GB)です。60秒間の1CHバックアップあたり約17MBが必要になります。

②バックアップ操作



3-6 より

3-6. 録画再生画面  
 >ビデオクリップ  
 録画再生画面から、ビデオクリップアイコンをクリックします。新規でタイムラインにVが表示されます。これはバックアップする開始時間・終了時間を定めるアイコンです。マウスでそれら定めたら保存アイコンをクリック、MP4を選択し保存します。USBメモリーのフォルダパスが表示されますが、そのまま続行すると映像が保存されます。

※USBメモリーのフォルダパスが表示されない場合は、USBメモリーが認識されていません。FAT32形式でフォーマットする、または別のUSBメモリーをご使用下さい。

## 3-6. 録画再生 - プレイバック

3-1-⑤ より

録画映像の日付を選択

検索日: 03/29/2024

録画映像の種類を選択

- 連続
- モーション
- IOアラーム
- 人感センサー
- エリア侵入
- ライン侵入
- 物体
- 人&車両
- 顔
- カウント
- 音声
- 妨害
- 手動

ストリームタイプ: メイン

録画再生のCHを選択

- T-CH1
- T-CH2
- T-CH3
- T-CH4

CH1

これは録画映像を再生する画面です。録画再生画面は、操作パネル3-1-⑤アイコンから表示できます。画面下部に表示されるタイムゲージは24時間を示し、色の塗りつぶされた箇所が再生可能地点です。塗りつぶされた箇所のでクリックすると、クリックされた地点から再生が開始されます。  
 録画映像の日付、種類、再生を行なうチャンネル(CH)を左側のメニューから選択します。日付はカレンダーアイコンをクリックし指定します。録画の種類は、必要な情報にチェックを入れます。すべて選択する場合は、「検索タイプ」右のチェックを入れます。同様の原理でチャンネルも指定します。

【△録画設定とHDD容量】

- ※1. モーション録画等のアラーム全般の機能において、未設定の状態では録画は実行されません。必要に応じ事前に設定して下さい。
- ※2. モーション録画等のアラーム全般の録画データは、連続録画と異なる映像データとして保存されます。従って、その分HDD容量を消耗します。

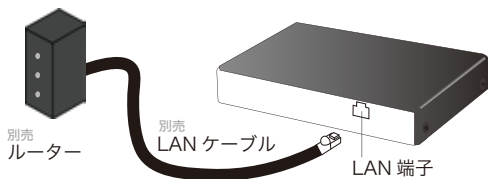
全画面表示 ※再度クリックで終了	ズーム ※マウスホイールで操作
巻き戻し/スロー/一時停止/コマ送り/早送り/停止	ビデオクリップ 動画の一部分を切り抜いてバックアップします。
スピーカー 音声を出力します。 ※音声対応カメラのみ	タグ 人物や物体の情報を記録できます。
キャプチャ 静止画を切り抜いてバックアップします。	名称タグ タグ機能に名称をつけられます。
	SO切替 3-1-⑧と同様です。



# 04 ネットワークと遠隔視聴

## 4-1. ネットワーク接続 (LAN/WAN)

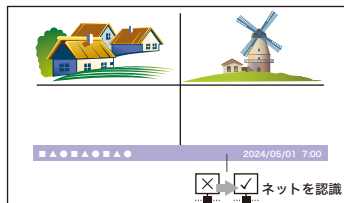
### ① ルーターとの接続



※ルーターとレコーダーは、DHCP 有効の状態と仮定します (2-3A)。DHCP 無効の場合は有効とするか、レコーダーの IP アドレスを固定する必要があります。

### ② ネットワークの認識

#### 3-1-① ネットより



3-1. ライブ画面  
>操作パネル内①アイコン  
正常にネットワークを認識していれば、このアイコンは「x」から「v」に変化します。「x」の場合、ルーターが DHCP 無効の場合があります。その場合は、DHCP を有効とするかレコーダーの IP アドレスを固定してください。

※IP アドレスの固定は、3-1-①-d 「ネット」 > 「基本設定」 から調整できます。また、レコーダーの DHCP が無効とされている場合も、この画面から調整できます。

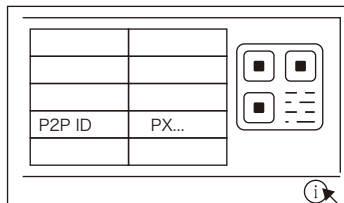
## インターネット接続に関する注意点

※ 使用するネットワーク (回線事業者・プロバイダを含みます) やブロードバンドルーター・ADSL モデムなどの機器の状態によっては、本機との通信ができない場合があることをご理解の上でお使い下さい。  
 ※ インターネット接続環境で使用する場合は、常時接続の環境でご使用ください。常時接続でない場合、遠隔地からインターネット経由で本機に接続できない、本機からのデータ送信、本機との通信が正常に行えないなどの原因となります。インターネット接続機器 (ブロードバンドルーターなど) の接続設定または動作仕様が、常時接続であることをご確認ください。  
 ※ 遠隔地からインターネット経由で本機にアクセスするためには、本機設置側のインターネット回線にグローバル IP アドレスが必要な場合がございます。  
 ケーブルインターネットなどの一部のプロバイダでは、プライベート IP アドレスが割り当てられる場合があります。  
 ご契約のプロバイダがグローバル IP アドレスを提供していることをご確認ください。  
 ※ 本機に登録されている管理者権限のユーザ ID・パスワードは、定期的に変更することを推奨します。  
 初期値のまま使用すると、不正なアクセスによる画像・音声・情報の閲覧、漏洩に繋がる恐れがあります。

## 4-2. スマートフォン / パソコン ペアリング設定

### ① P2P ID/二次元コードの控え

#### 3-1-⑭ i より



3-1. 操作パネル内⑭アイコン  
システム情報を開き、P2P ID もしくは二次元コードを表示します。

【スマートフォンの場合】  
専用二次元コードを使用するため、表示したままにしてください。

【パソコンの場合】  
P2P ID を使用するため、値を控えってください。

※この説明では、P2P による接続方式を紹介しています。P2P 接続以外でペアリングを行う場合は、高度な設定が必要です。

### ② ペアリング設定



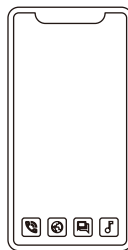
左の二次元コードをスマートフォンの QR スキャナーで読み取ってください。詳しい設定を確認いただけます。

パソコンからアクセスする場合は、ブラウザで URL を入力する、もしくは公式 HP からアクセスして頂けます。

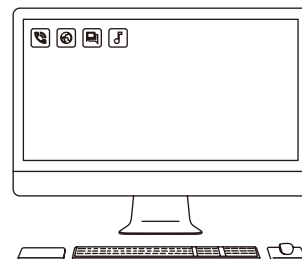
URL : [https://www.yazawa.co.jp/support/coaxial\\_recorder/](https://www.yazawa.co.jp/support/coaxial_recorder/)

MEMO P2P ID

## 対応要件



□スマートフォン 対応 OS  
Android 5.0 以降  
iOS 12 以降



□パソコン 対応 OS・要件  
Windows 7/10/11 以降  
macOS 11.6  
Intel® Core™ i5-4590 CPU@3.30GHz , RAM4GB

## 高度なネットワーク設定

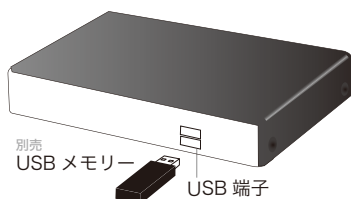
### 3-2-①-d 地球儀より

◆基本設定	基本設定 PPPOE SNMP ポート設定
◆DDNS	WAN
◆メール	DHCP <input checked="" type="checkbox"/>
◆IP フィルター	IP アドレス <input type="text" value="192.168.001.100"/>
◆音声アシスタント	サブネットマスク <input type="text" value="255.255.255.000"/>
◆プラットフォーム	ゲートウェイ <input type="text"/>
	IPv6 アドレス <input type="text" value="2000::1"/> / <input type="text" value="064"/>
	IPv6 ゲートウェイ <input type="text" value="2000::1"/>
	DNS1 <input type="text" value="192.168.001.001"/>
	DNS2 <input type="text" value="008.008.008.008"/>
	<input type="checkbox"/> web 互換モード
	チャンネル選択 <input type="text"/> ビデオ暗号化 <input type="text"/>
	<input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="適用"/>

3-2-①-d のネットワークから、高度なネットワーク設定画面を開けます。この画面では、専門知識を必要とします。例えば、DDNS でグローバル IP アドレスを固定することも可能です。

### 5-1. ファームウェアアップデート

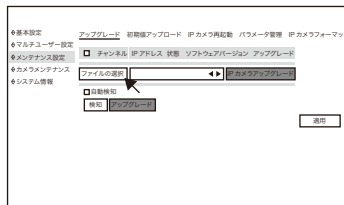
① USB メモリーの差し込み



※事前にアップデートファイルを USB メモリーへ保存しておきます。アップデートファイルは弊社公式 HP よりダウンロードできます。

② アップデート操作

3-2-①-f ④より

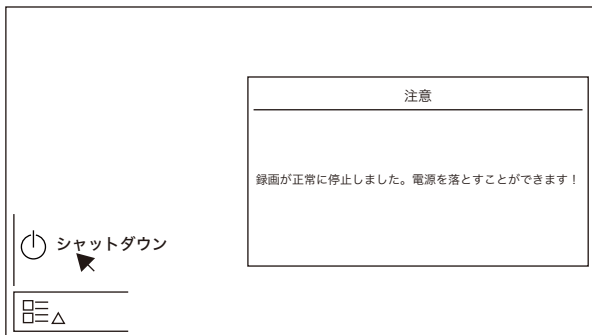


3-1. 操作パネル内①-f 「システム」  
>メンテナンス設定>アップグレード  
「ファイルの選択」より USB メモリーのアップデートファイルを指定します。  
その後「適用」をし、アップデートに成功すると再起動されます。

※アップデートに失敗した場合、ヘルプページからお問い合わせ下さい。

### 5-4. シャットダウン

3-2 ①より



シャットダウンをするには、この手順に従い電源を切ります。画面に「録画が正常に停止しました。電源を落とすことができます！」と表示されたら、電源アダプターとの接続を切断します。

この手順に従わずシャットダウンすると、レコーダー設定の消失、映像情報の消失、最悪の場合には故障してしまう恐れがあります。

### 5-2. リセット (工場出荷時に戻す)

3-2-①-f ④より

<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設定</li> <li>マルチユーザー設定</li> <li>メンテナンス設定</li> <li>カメラメンテナンス</li> <li>システム情報</li> </ul>	<p>ログ 初期値アップロード リセットスイッチ設定 アップグレード</p> <p><input type="checkbox"/> すべてを選択</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> チャンネル</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 録画</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> アラーム</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ネット</p> <p><input type="checkbox"/> ストレージ</p> <p><input type="checkbox"/> システム</p> <p style="text-align: right;">適用</p>
--	---

リセットを実施する場合、メンテナンス設定>初期値アップロードより作業を進めます。リセット対象の設定項目をチェックボックスで選択し適用します。「適用」をクリックすると、再起動が始まり工場出荷時に戻っています。録画設定や録画映像を削除したくない場合には、「録画」「ストレージ」にチェックを外し、適用してください。


### 5-3. アカウント / パスワード 編集


3-2-①-f ④より

<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設定</li> <li>マルチユーザー設定</li> <li>メンテナンス設定</li> <li>カメラメンテナンス</li> <li>システム情報</li> </ul>	<p>マルチユーザー設定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>ユーザー名</th> <th>レベル</th> <th>ユーザー有効</th> <th>ユーザー編集</th> <th>許可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>admin</td> <td>ADMIN</td> <td>有効</td> <td>🔗</td> <td>🔒</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>user1</td> <td>ユーザー 1</td> <td>無効</td> <td>🔗</td> <td>🔒</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>user2</td> <td>ユーザー 2</td> <td>無効</td> <td>🔗</td> <td>🔒</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>user3</td> <td>ユーザー 3</td> <td>無効</td> <td>🔗</td> <td>🔒</td> </tr> </tbody> </table> <p>既定のユーザ <input type="text" value="admin"/></p> <p style="text-align: right;">初期化 適用</p>	No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	ユーザー編集	許可	1	admin	ADMIN	有効	🔗	🔒	2	user1	ユーザー 1	無効	🔗	🔒	3	user2	ユーザー 2	無効	🔗	🔒	4	user3	ユーザー 3	無効	🔗	🔒
No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	ユーザー編集	許可																										
1	admin	ADMIN	有効	🔗	🔒																										
2	user1	ユーザー 1	無効	🔗	🔒																										
3	user2	ユーザー 2	無効	🔗	🔒																										
4	user3	ユーザー 3	無効	🔗	🔒																										

アカウント / パスワードの編集画面では、ユーザーアカウントの追加やパスワードの変更を実施できます。マルチユーザー設定から「ユーザー編集」をクリックし、パスワードを編集できます。

## 6-1. OSD - PTZ/UTC

■ライブ単画面表示 > 画面上クリック > 画面下部中央  より




メイン設定	
フォーマット	2M30
ビデオモード	AHD
言語	日本語
露出	<input checked="" type="checkbox"/>
オーディオレベル	9
日中 & 夜間	<input checked="" type="checkbox"/>
ビデオ設定	<input checked="" type="checkbox"/>
リセット	<input checked="" type="checkbox"/>
終了	<input checked="" type="checkbox"/>
保存して終了	<input checked="" type="checkbox"/>

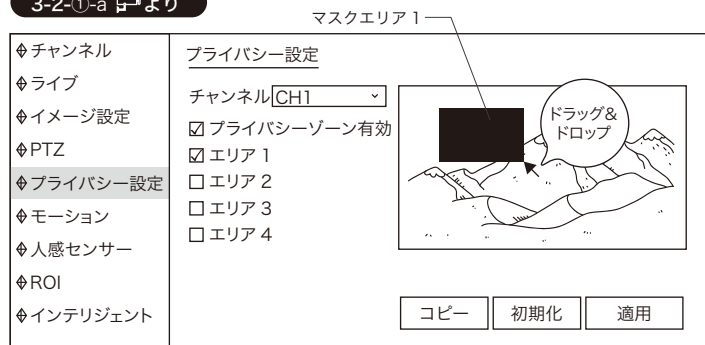
OSD とは、モニタ上にカメラの操作情報を表示する機能になります。具体的には、PTZ(パン・チルト・ズーム)を使用したり、UTC(アップトゥコアックス)でカメラメニューを呼び出すことができます。必要に応じモードをPTZ/UTCで切り替えてください。

PTZでは、左右回転・上下回転・電動ズームを使用できます。(※PTZ対応カメラに限る)リモコンUIの十字キーでそれぞれをコントロールします。

UTCでは、リモコンUI中央の「○」をクリックするとカメラメニューが表示されます。十字キーで移動、「○」で決定します。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

## 6-2. プライバシーマスク

3-2-①-a  より

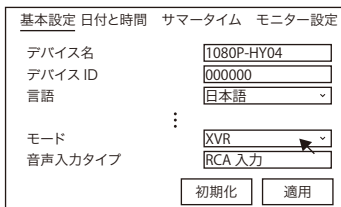


プライバシーマスクとは、映像にマスキングを行ない、画面のうち一部を隠べいできる機能です。この機能により個人情報に配慮した防犯を実施できます。プライバシー設定から「プライバシーゾーン」と「エリア」にチェックを入れます。最大4エリア(4ブロック)を設定できます。ドラッグアンドドロップでサイズを調整し、適用します。

## 6-3. IP カメラ設定

①DVR から XVR への切り替え

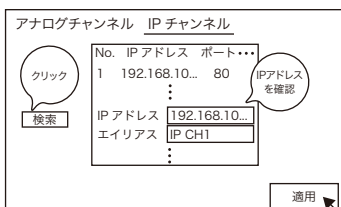
3-2-①-f  より



初期設定時は、モード設定が「DVR」になっています。この値を「XVR」に変更し、適用してください。適用後、本機は再起動します。

②IPカメラを読み込む

3-2-①-a  より



再起動後、チャンネルを確認するとIPチャンネルが追加されています。「検索」からIPカメラを検索します。IPアドレスが表示されると、IPカメラが認識されています。各値を確認し、設定が完了したら適用します。

※IPカメラと本機は同一ネットワーク下であることを前提としています。

## 07 トラブルシューティング

### 7-1. レコーダーの操作画面がモニターに出力されません。

レコーダーの操作画面がモニターに出力されない場合、次のような原因が想定されます。

- ①レコーダーの電源が入っていない →電源アダプターの接続状況と通電状態を確認する必要があります。
  - ②モニターの入力規格が合致していない →パソコン用モニターへの変更で解決する可能性があります。
- いずれも各機器との接続状態から影響を受けています。P4 をご確認ください。

### 7-2. カメラの映像がモニターに出力されません。

カメラ映像がモニターに出力されない場合、次のような原因が想定されます。

- ①カメラの電源が入っていない →電源アダプターの接続状況と通電状態を確認する必要があります。
  - ②映像線に問題がある →映像配線の状態が影響しています。映像端子の抜き差しをお試し下さい。
  - ③カメラに問題がある →カメラにトラブルが起きているかもしれません。
- いずれもカメラもしくは配線の入れ替えや端子の抜き差しでヒントを得られる可能性があります。

### 7-3. 音声モニターから出力されません。

カメラで取得された音声出力されない場合、次のような原因が想定されます。

- ①本機の音量設定が小さい →3-1-⑥アイコンから音量を調整しましょう。
- ②モニターの音量が小さい →モニター本体の音量設定を調整しましょう。
- ③カメラが対応していない →音声マイクが内蔵されたカメラのみ対応しています。

### 7-4. 音声記録(録音)されてません。

カメラの音声記録(録音)されない場合、次のような原因が想定されます。

- ①録音設定が許可されていない →3-3 より「音声」にチェックを入れましょう。
  - ②カメラの音声プロトコルが異なる →カメラの音声プロトコル設定値を「AHD」「TVI」に変更します。
- カメラプロトコルの変更は、6-1 を参考にカメラの設定を変更します。

### 7-5. 動体検知録画(モーションアラーム)が機能していません。

動体検知録画が機能していない場合は、設定が完了していないことが想定されます。3-4、3-5 を設定しないと機能しません。

### 7-6. スマートフォン、パソコンから遠隔視聴できなくなりました。

遠隔視聴できなくなった場合、次のような原因が想定されます。

- ①本機とルーターが通信していない →4-1 が正常か確認しましょう。
  - ②インターネット回線に問題がある →ご契約中のインターネット回線が影響しています。
  - ③サーバーメンテナンス中 →専用サーバーがメンテナンス中かもしれません。
- いずれも通信に関する原因です。不明点はヘルプページからお問い合わせください。

2024.09 外観、及び仕様については改良のために予告なく変更することがあります。